

広報 みんなの消防

火のしまつ 君がしなくて 誰がする

—平成20年度全国統一防火標語—

広げよう 街に暮らしに 防火の輪

—入間東部地区消防組合防火標語—

平成20年度 入間東部地区消防組合 当初予算概要

平成20年度予算案が、3月の入間東部地区消防組合定例議会で可決されました。

今年度のおもな事業は、老朽化に伴う車両の更新として、災害現場で指揮本部の役割をする「指揮車」の更新、高度な救急要請に対応する中央消防署救急車の更新、1,500リットルの消火用水を積載する上福岡消防署消防車の更新です。また、地震の揺れを体験できる「起震車」は、起震装置部分は従来の装置を再利用し、環境にやさしいベース車両にませ換えます。

厳しい財政状況ですが、皆様からお預かりした税金を大切にに使わせていただきます。

収入 2,876,131千円

2,709,366千円	97.02%	分担金及び負担金
68,700千円	2.39%	組合債
11,100千円	0.39%	繰越金
1,143千円	0.04%	その他、諸収入
3,000千円	0.10%	寄付金
1,822千円	0.06%	使用料及び手数料

支出 2,876,131千円

2,744,250千円	95.41%	消防費
120,665千円	4.21%	公債債
3,161千円	0.11%	諸支出金
4,728千円	0.16%	議会費
327千円	0.01%	総務費
3,000千円	0.10%	予備費

●入間東部地区消防組合は、三芳町・富士見市・ふじみ野市により、共同で設置されています。消防組合の収入の内、97%以上が、市・町の負担金からなります。各市・町の負担金額は、次のとおりです。

●負担金●

○三芳町	509,525千円
○富士見市	1,041,803千円
○ふじみ野市	1,239,038千円

●消防費内訳●

常備消防費（消防署など）	2,657,660千円
非常備消防費（消防団など）	86,590千円
・三芳消防団費	19,246千円
・三芳町消防施設費	3,274千円
・富士見消防団費	23,647千円
・富士見市消防施設費	4,481千円
・ふじみ野消防団費	30,751千円
・ふじみ野市消防施設費	5,191千円

台風シーズンの8月・9月は、各地で大きな被害が発生しています。強風による建物の破損は、日常生活に支障をきたす以外に、破片により、人や他の建物に被害を与える恐れがあります。

建物の補強や、避難場所の確認など、各家庭で台風へ備えましょう。

台風へ備えましょう！

閉め切った車内は危険がたくさんありますので、ご注意ください。

夏場の閉め切った車内は危険がいっぱい！

強い陽射しのもと、窓を締め切ったエンジンを停めて駐車すると、車内の温度は50度近くになる事もあり、高温が原因で乳幼児が犠牲になる恐れがあります。

また、使い捨てのライターや炭酸飲料の容器、スプレー缶が破裂するなど、思わぬ原因で事故や災害が発生します。

住宅用火災警報器は設置しましたか？

6月から一般住宅に「住宅用火災警報器」の設置が義務化されました。義務化に便乗して、不適正価格での販売や、強引に売りつける悪質業者にご注意ください。

また、消防職員・団員が訪問販売や点検をする事は一切ありませんのでご注意ください。

まちを守る 消防団の紹介

災害が発生した時、消防隊員と共に災害防衛活動をする消防団は、自営業や会社員などの本業を持ちながら、「自分たちのまちは、自分たちで守る」という郷土愛護の精神で、地域防災の中核を担っています。

三芳町には、80人程の消防団員が在籍し、災害が発生すると自宅や職場から町内5箇所にある「分団車庫」に集合し、災害現場に急行します。そのほか、火災予防活動、地域の消防訓練などを行い、まちの安心・安全のために活動しています。



三芳町消防団長 長谷川 清行



三芳町・富士見市・ふじみ野市の消防団

園児が大集合！ 消防園児見学

5月27・28日の2日間、消防訓練場で、三芳町・富士見市・ふじみ野市の幼稚園や保育園・保育所などの幼児、約2千人を対象に、毎年恒例の「消防園児見学会」を開催しました。

幼年期からの防災教育で、火遊びや、子供だけの花火などによる火災を防ぐため、今年で31回目を迎えました。



◀「防火」の文字が入った法被（はっぴ）が決まっています！



消防隊員による、迫力ある放水訓練を見学。



子供だけの花火は危険です。

隊員の訓練風景の見学や、消防音楽隊の演奏にあわせて、童謡を歌いました。

また、消防車と一緒に記念撮影をし、楽しく防火について学びました。

救助技術指導会が開催されました

5月20日に消防訓練場で、近隣10消防本部の消防・救助隊員・約350人の出場場で、「埼玉県第2ブロック消防救助技術指導会」が開催され、消防救助技術の正確さと迅速さが競われました。



7月31日に千葉で開催する関東大会に、当消防本部「障害突破チーム」が埼玉県代表として出場します。

電力会社と連携

東京電力・志木支社の協力により、同職員を講師に招いて、災害時の電気事故防止のための研究会を実施しました。



講義のほか、感電を防ぐための実技指導を受けました。

最新型車両を配備

車両の老朽化に伴い、最新の車両を配備し、消防力の強化を図りました。

災害時、追加招集された隊員を災害現場まで運ぶ「災害用バス」、高度な救急医療技術に対応した富士見消防署の救急車、1.5トンもの消火用水を積載したみずほ台分署の消防ポンプ車、0.8トンの水を積載し、狭い道で機動力を発揮する上福岡消防署の消防ポンプ車です。



◀みずほ台駅周辺や三芳町の災害に出動する「みずほ1号車」

